

平成22年度
全国学力・学習状況調査結果の概要

－ 自ら学ぶ力を育むために －

平成23年2月
高知県教育委員会

— 目 次 —

はじめに	
I 調査の概要	1
II 学力の状況	3
1 教科に関する調査結果の比較	4
2 教科に関する全国平均正答率との差（グラフ）	5
III 教科ごとの学力の状況等	6
1 小学校国語	7
2 小学校算数	12
3 中学校国語	17
4 中学校数学	22
5 教科に関する質問紙調査より（国語、算数・数学）	27
IV 質問紙調査の状況	34
1 基本的な生活習慣に関する質問より	35
2 自尊感情に関する質問より	37
3 人や社会とのかかわりに関する質問より	39
4 読書に関する質問より	40
5 家庭での学習時間や学習内容に関する質問より	41
6 学習サポートに関する質問より	43
7 個に応じた指導に関する質問より	44
8 幼児教育と小学校教育に関する質問より	45
9 校内研修に関する質問より	47
10 全国学力・学習状況調査に関する質問より	49
11 地域との連携に関する質問より	50
12 ICT環境、活用などに関する質問より	51
13 質問紙調査結果一覧	52
作成委員名簿	60

はじめに

平成22年4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果が平成22年7月に公表されました。

これまでの3回の悉皆調査の結果と比較すると、今回の調査結果が抽出調査であったことを考慮しても、本県の小・中学生の学力については、改善傾向にあるといえます。具体的には、国語、算数・数学の全ての項目において、全国の平均正答率との比較で昨年度より改善が見られました。

特に小学校算数では、主に「知識」に関するA問題、「活用」に関するB問題ともに明らかな改善が見られました。これは各学校が単元テストなどを活用して定着状況を把握し、結果に応じて個別の指導を継続してきた成果であると考えます。加えて、国語もA・B問題ともに改善しており、全国の平均正答率とほぼ同じレベルとなりました。

一方、これまで少しずつ全国の平均正答率に近づいていた中学校でも、国語、数学ともにさらに差が縮まってきています。これは、生徒自身の努力や保護者の皆様のご協力とともに、家庭学習の習慣化に向けた取組や補習学習の実施など、中学校現場の先生方の努力の結果であると評価できます。しかし、まだ全国との差が顕著であり、厳しい状況に変わりはありません。

次に、質問紙調査においては、家庭学習の時間が30分未満の児童生徒の割合が昨年度に引き続いて減少するとともに、実践的な校内研修を行っている学校や、放課後や長期休業日に補習を実施している学校の割合が増加するなど、学校の取り組みも積極的に進んでいます。

高知県教育委員会では、平成20年7月にまとめた「学力向上・いじめ問題等対策計画」（平成22年6月第2次改訂）において、本県の教育課題の解決を図るために取り組むべき指針を示しており、各学校も自校が作成した「学力向上のための学校改善プラン」に基づく改善方策を実行するなど、県をあげた学力向上の取り組みは着実に進んでいます。

また、本年度は、これまでの施策に加えて、「ことばの力」育成プロジェクトを立ち上げ、国語学習シートや指導改善資料集に加えて、学校図書館ガイドブックや必読図書リストブックを作成・配付し、国語の家庭学習習慣の定着と教員の授業力の向上を図るとともに、学校図書館を充実させる体制づくりを行いました。

今後、学力向上の取組をさらに加速させるためには、こうした施策を、各学校の学校改善プランの中に確実に位置づけて実行していくことが重要となります。

県教育委員会としましては、各学校の学力向上のための学校改善プランが確実に実行され成果をあげるために、これまでの取り組みを継続して実施するとともに、学校を支援する体制を整えるための施策を検討し、学力向上のための取り組みの徹底と質の向上を図っていきます。

平成23年2月

高知県教育長 中澤 卓史

I 調査結果の概要

[調査結果の解釈等に関する留意事項]

本調査は抽出調査であり、各都道府県（公立）の教科に関する調査については誤差±1%程度の精度となるように標本抽出が行われているため、推計値である集計値については、全国（国・公・私立）の教科に関する調査及び児童に対する質問紙調査については誤差±0.2%程度、学校質問紙調査については誤差±1%程度並びに各都道府県（公立）の教科に関する調査については誤差±1%程度の精度となっていることにも留意することが必要である。

本調査の結果においては、国語A・B、算数A・Bごとの平均正答数、平均正答率等の数値を示しているが、平均正答数、平均正答率のみでは必ずしも調査結果のすべてを表すものではなく、平均正答率の95%信頼区間、中央値、標準偏差等の数値や分布の状況を表すグラフの形状など他の情報と合わせて総合的に結果を分析、評価することが必要である。

[用語説明]

平均正答率の 95%信頼区間	95%の確率で、全員を対象とした調査（悉皆調査）の場合の平均正答率が含まれる範囲。
-------------------	---

※平成22年度 全国学力・学習状況調査 【小学校】調査結果概要（平成22年7月 文部科学省・国立教育政策研究所）より引用

1 調査の目的

- ◇ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◇ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する
- ◇ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる

2 実施日 平成22年4月20日（火）

3 公表日 平成22年7月30日（金）

4 調査対象 小学校第6学年，中学校第3学年

5 調査内容

- ◇ 教科に関する調査（国語、算数・数学）
 - ・主として「知識」に関する問題
 - ・主として「活用」に関する問題
- ◇ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

6 調査方式

- ◇ 抽出調査
 - ・学校単位でのランダム抽出
 - ・全国の抽出率約30%
 - ・都道府県毎に平均正答率が95%の確率で誤差1%以内になるよう抽出率を設定
 - ・都道府県毎に抽出率は異なる

7 県内（公立学校）の参加状況（抽出調査対象校）

- ◇ 抽出調査実施校数（抽出率：小学校50.4%、中学校71.1%）

小学校113校

※小学校6年生が在籍なしとなった学校1校を除く

中学校86校

※特別支援学校（中学部）2校を含む

小・中学校合計学校数199校

- ◇ 小学校解答（回答）児童数

国語A	3,143名	国語B	3,145名
算数A	3,144名	算数B	3,146名
児童質問紙	3,145名		

- ◇ 中学校解答（回答）生徒数

国語A	3,779名	国語B	3,784名
数学A	3,774名	数学B	3,774名
生徒質問紙	3,775名		

Ⅱ 学力の状況

1 教科に関する調査結果の比較

小学校

			平均正答率(%)		全国と高知県の差
			高知県(公立)	全国(公立)	
国語	A	平成22年度	82.8(82.2~83.5)	83.3(83.2~83.5)	-0.5
		平成21年度	68.5	69.9	-1.4
		平成20年度	65.0	65.4	-0.4
		平成19年度	81.7	81.7	0.0
	B	平成22年度	78.1(77.2~79.0)	77.8(77.7~78.0)	0.3
		平成21年度	49.5	50.5	-1.0
		平成20年度	47.7	50.5	-2.8
		平成19年度	60.0	62.0	-2.0

			平均正答率(%)		全国と高知県の差
			高知県(公立)	全国(公立)	
算数	A	平成22年度	75.3(74.3~76.3)	74.2(74.0~74.4)	1.1
		平成21年度	76.4	78.7	-2.3
		平成20年度	72.6	72.2	0.4
		平成19年度	81.6	82.1	-0.5
	B	平成22年度	48.2(47.2~49.2)	49.3(49.1~49.5)	-1.1
		平成21年度	52.1	54.8	-2.7
		平成20年度	49.3	51.6	-2.3
		平成19年度	60.7	63.6	-2.9

中学校

			平均正答率(%)		全国と高知県の差
			高知県(公立)	全国(公立)	
国語	A	平成22年度	72.6(72.0~73.3)	75.1(75.0~75.2)	-2.5
		平成21年度	74.2	77.0	-2.8
		平成20年度	70.0	73.6	-3.6
		平成19年度	78.1	81.6	-3.5
	B	平成22年度	61.0(60.0~62.1)	65.3(65.1~65.5)	-4.3
		平成21年度	69.8	74.5	-4.7
		平成20年度	54.7	60.8	-6.1
		平成19年度	64.0	72.0	-8.0

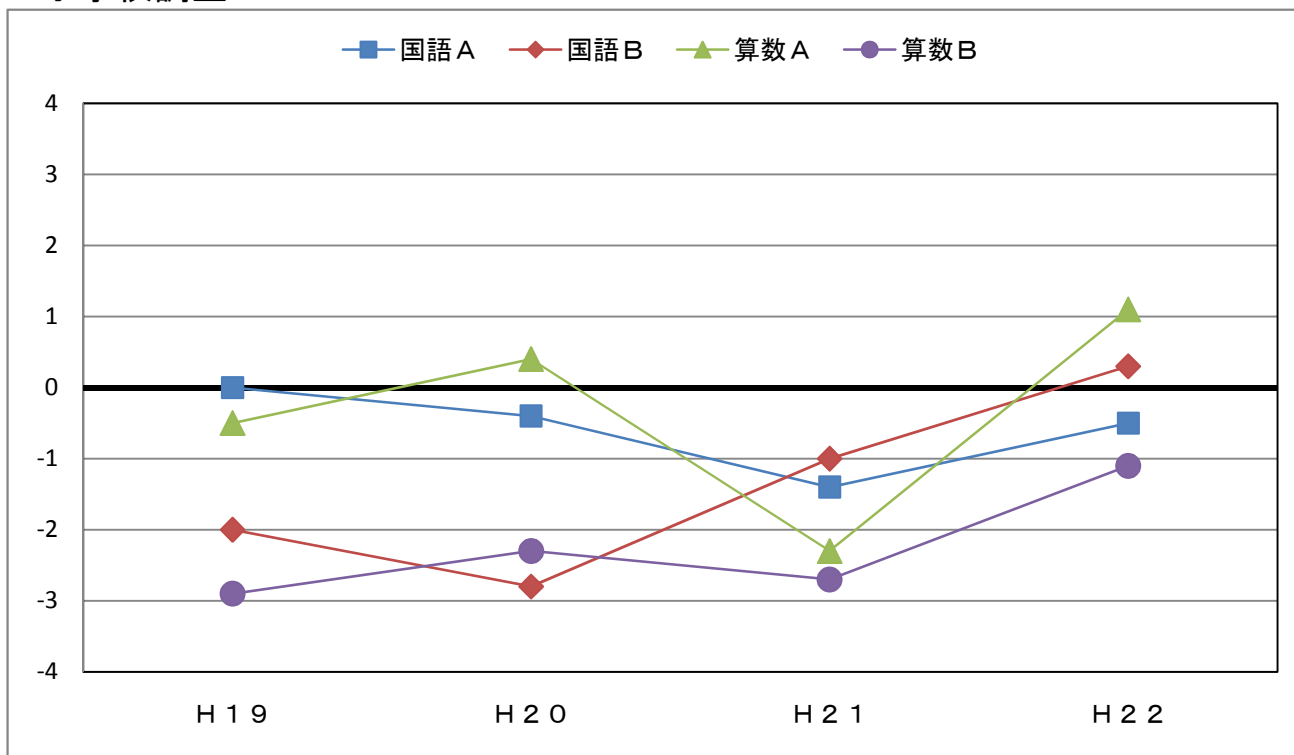
			平均正答率(%)		全国と高知県の差
			高知県(公立)	全国(公立)	
数学	A	平成22年度	59.5(58.3~60.7)	64.6(64.4~64.8)	-5.1
		平成21年度	56.5	62.7	-6.2
		平成20年度	54.5	63.1	-8.6
		平成19年度	62.8	71.9	-9.1
	B	平成22年度	36.6(35.4~37.9)	43.3(43.1~43.5)	-6.7
		平成21年度	49.7	56.9	-7.2
		平成20年度	41.5	49.2	-7.7
		平成19年度	50.6	60.6	-10.0

※平成22年度は抽出調査のため、平均正答率の推計値で示している。

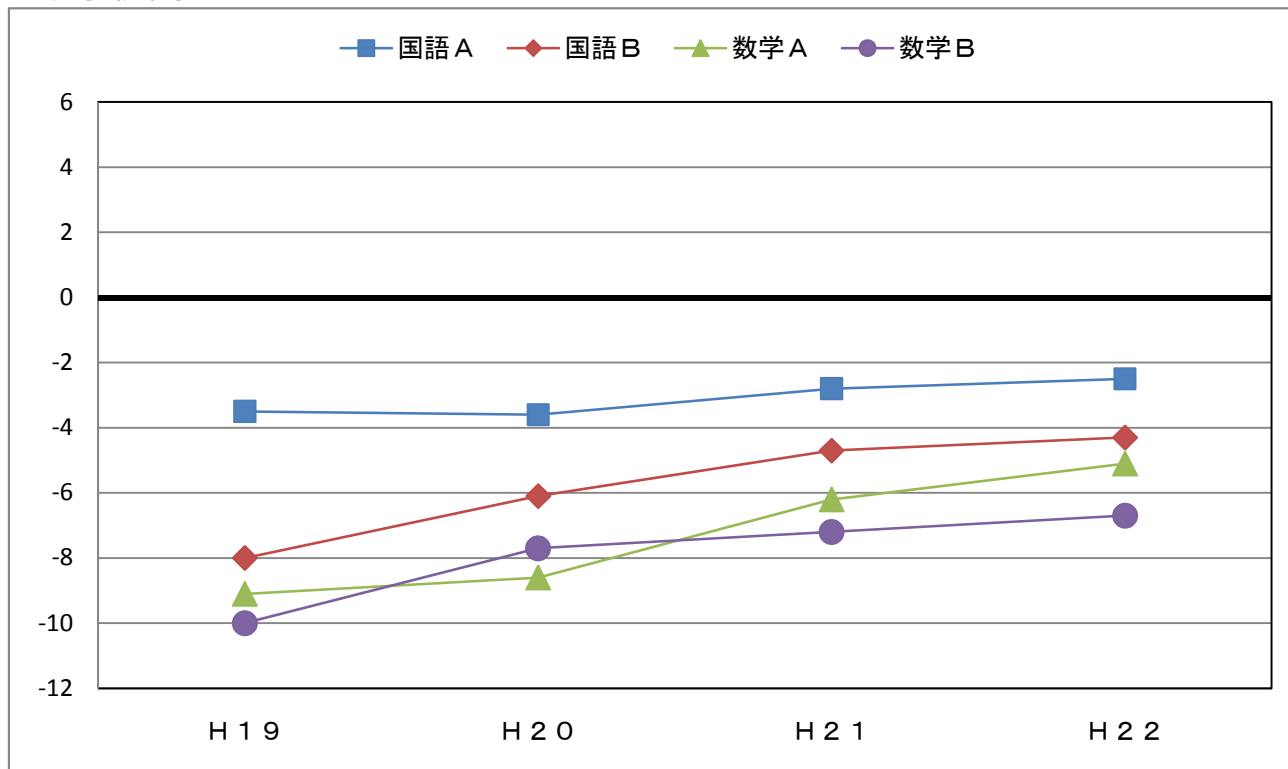
()の数値は平均正答率の95%信頼区間(95%の確率で、全員を対象とした調査(悉皆調査)の場合の平均正答率が含まれる範囲。)を示している。

2 教科に関する全国平均正答率との差(グラフ)

小学校調査



中学校調査



※縦軸は全国の平均正答率との差をポイントで示しています。